

## 音源探索情報紹介収録

### 音源探索情報紹介【2017No.17】(HP 掲載)

Web Site(雑誌) : DiGiFi

URL(巻号) : No.24

Site 標題 : スペシャルハイレゾサンプラーDVD

副題 :

関連 Site :

管理者 :

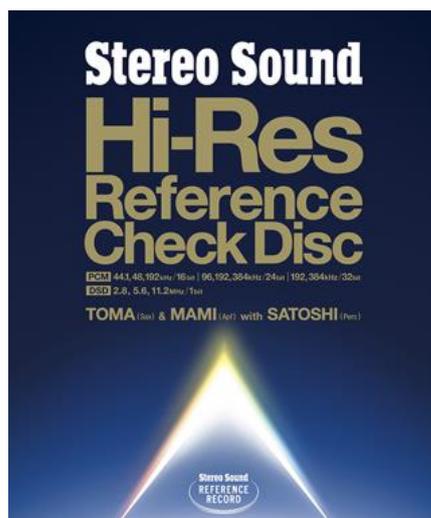
課金 : DVD 付録

備考 1 : 和文

備考 2 :

備考 3 :

概要 :



### [プロサウンド 32 巻 3 号](#)と[プロサウンド 32 巻 4 号](#)と[音源探索情報紹介【2015No.13】](#)

では、いろいろなフォーマットで同時録音されたものが紹介されています。今回の DiGiFi No.24 のスペシャルハイレゾサンプラーDVD も同様の企画です。

以下に記事を引用します。

#### 特別付録 ハイレゾ音源収録 DVD 連動企画

5 台の録音機を駆使して、現代最高フォーマットで一発録音

今号のデジファイでぜひ注目いただきたいトピックとしては、ミキサーズラボの高田英男さんをレコーディング・サウンド・プロデューサーに迎えたスペシャルハイレゾサンプラーDVD の特別付録です。東京・ビクタースタジオで TOMA & MAMI with SATOSHI のトリオ編成による

演奏を“究極のハイレゾ・レコーディング環境”で収録したこの音源は、本誌読者のような熱心なハイレゾ・リスナーのリファレンスとなることを願って制作したものです。

具体的には次のような5種類のフォーマットで2音源、計10トラックを収録しました。

- (1) 44.1kHz/16ビット WAV
- (2) 192kHz/24ビット WAV
- (3) 384kHz/32ビット WAV
- (4) 5.6MHz DSD
- (5) 11.2MHz DSD

これらの音源は、アナログコンソールでトラックダウンされたステレオ音声をそのまま録音する、いわゆる一発録音の手法で収録しています。アナログ的に分岐された5系統の信号を上記の5フォーマットを同一条件でデジタル化した音楽データとなります。(1)～(2)はプロツールズという現在の商業録音システムのもっとも普及している機器を使い、(3)～(5)は、高度なハイレゾ録音で使われるケースが多いピラミックスというシステムを用いています。このように同一条件の音源をフォーマット違いで録音したことにより、デジタル上の変換などで作り上げた音源とは異なる、「ハイレゾの器の違い」を厳密に音として自らのシステムで確認できるチェック音源となります。言葉を変えると自分のシステムや自分の耳の「ハイレゾ対応力を判定する」怖い音源ともいえます。この特別な方法で作られた音源を使って、どうぞご自身のシステム、ご自身の耳をお試しくください。詳細な録音方法、目的、聴き比べポイントなどの解説もたっぷりお届けしています。必見、必聴、必携の特別付録です。

また、下記でも紹介記事があります。

**Stereo Sound ONLINE**

<http://www.stereosound.co.jp/review/article/2016/11/25/51664.html>

収録風景の動画も YouTube で公開されています。

[https://www.youtube.com/watch?v=1anvNz4gqi0&feature=em-share\\_video\\_user](https://www.youtube.com/watch?v=1anvNz4gqi0&feature=em-share_video_user)

以上はサンプラーの情報ですが、すべての収録曲は Stereo Sound Hi-Res Reference Check Disc (BD-ROM+CD)として販売されています。

[https://store.stereosound.co.jp/products/detail.php?product\\_id=2601](https://store.stereosound.co.jp/products/detail.php?product_id=2601)

今回、オーディオ仲間のご厚意ですべての収録曲も聴かせていただきましたが、結果は次のとおりでした。

- ・全般的にすべてのフォーマットで録音は優秀である。

- **fidata→Sonica** の USB 直結の再生で、2.8MHzDSD/5.6MHzDSD/11.2 MHzDSD を比べてみると、フォーマット違いの音質の差は良く分かる。
- **【fidata→スイッチングハブ→Sonica】** のネットワーク再生（2.8MHzDSD が上限）でも録音が優秀であることが分かる。
- 2.8MHzDSD と 192KHzPCM を **【 fidata→スイッチングハブ→Sonica】** のネットワーク再生と **【fidata→Sonica】** の USB 直結の再生を比べると後者の方の音質が良い。

以上